

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月8日から12日の3日間行われました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、質問時間を一人40分以内に短縮し、合計16人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。 **【発言順】**



質問者ごとにQRコードを掲載しています。スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画映像をご覧いただけます。



三木 剛

[無所属]

社会体育施設の管理運営は 小中学校の父母負担軽減措置の状況は

問 生涯スポーツの振興において社会体育施設、カントリーパークとうわの陸上競技場の管理が適切に行われているか。

答 競技場のトラックに発生した藻に対して安全面を考え、トラックの洗浄を平成24年度に除染事業として実施し、平成29年度にオーバーレイを実施した。その後、職員が清掃をしたが、思うような洗浄効果が得られなかった。今年度、民間業者による清掃のデモンストレーションを一部実施し、一定効果があることを確認した。定期的な清掃につ

いては、安全な利用のために、費用面なども考慮しながら、実施に向けて検討している。

問 コロナ禍で収入が減った家庭に対する父母負担軽減対策はどのように行われているのか。

答 コロナ禍の影響で収入が減った家庭に特化した施策は講じてはいない。しかし、経済的な理由により就学困難と認められる小・中学生の保護者に対して、就学上必要な経費の一部を助成する就学援助制度を設け、申請の方法については、各学校を通して保護者に周知している。

新型コロナウイルス感染状況は 市道及び遊歩道の除草は

問 新型コロナウイルスの市内感染状況を伺う。

答 市内感染者の報告について、管轄である県北保健所から感染者数のみ連絡が入る。現在は、感染者数と県全体の性別、年代別の件数のみ福島県のホームページに公表される。県北保健所へ照会したが、市の年代別感染者数は市町村ごとの集計を行っておらず、重症者・死亡者数は県本部で所在地等を公表していないためお答えできかねる。

問 市道及び遊歩道の除草について伺う。

答 市道は道路パトロールを行い、草の繁茂状況によ



高宮 正彦

[真誠会]

り、道路管理者である市において除草を行う。観音丘陵遊歩道は定期除草を行っている。市の直営による除草作業には限界があり、ボランティア活動で地域の皆様に可能な範囲での除草作業をしていただいている。しかし、近い将来、高齢化の問題もあり、皆様のご協力を得ることが難しいため、除草効率を上げる方法や無人草刈機やラジコン草刈機の導入、建設業者への業務委託などについても検討していく。



武藤 清志

[みらいの風]

問 行政文書における「地域」と「地区」の使い分けについて、どのように市内統一されているか。市民に幅広く理解を得るための配慮は行っているか。

答 「地域」は合併前の旧「二本松市、安達町、岩代町、東和町」の区域を指す場合、「地区」は各地域の大字以下の区域を指す場合にそれぞれ使用している。再度、市内へ周知したい。難解な「役所ことば」は使用せず、市民に分かりやすい文書を作成するよう職員に周知徹底する。

市民が分かりやすい市政をどう推進するか 道路の適切な管理体制は

問 市道・国県道の管理と道路愛護団体の育成支援はどのようになっているか。

答 2,043kmに及ぶ市道は毎週道路パトロールを行い、市民からの通報とも併せ適切な維持管理に努めている。国県道も同様に国交省国道維持出張所及び県土木事務所が本市と連携して管理にあたっている。市では道路愛護活動へ「ボランティア支援事業」を行っている。

8月豪雨の太陽光発電施設による被害は 市内学校施設の環境整備は

問 岩代の太陽光発電施設での事故原因と被害状況、協定書による行政指導は。

答 調整池に排水を導く縦排水が今年5月のゲリラ豪雨で洗堀破損し、縦排水の洗堀拡大防止のため集水桝で調整を行ってきたが、8月3日の大雨で集水桝に土砂が流入・堆積し、国道459号や共同墓地に土砂が流出した。「環境保全に関する協定書」に「事故等発生時は、速やかに市、地域住民等に報告とともに事態の収拾を迅速に図る」とされているが、事故の把握が遅れたこと、対応が迅



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

速とは言い難いと指摘し、今後、台風や警報発令時には、現地に待機する等の対応を強く指導した。

問 PTAによる学校施設の草刈りが、児童生徒の減少に伴い保護者数も減り、作業実施に困難をきたしている。こうした現状を踏まえ、当局で予算を確保するなど今後の進め方を伺う。

答 今後も保護者など可能な範囲で協力を願いたい。学校の管理上不都合が生じる場合、臨時的経費の予算措置等も含め対応を検討したい。



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 特別支援学校建設の進捗状況は、県から聞いているか。

答 令和3年度から令和5年度に地質調査、基本・実施設計を行う。現在予定通り進んでいる。本市は、敷地造成測量設計業務及び進入路拡幅の用地買収を完了。現在、敷地造成を進めている。併せて、進入路の工事も予定しており、完成後は、早期に福島県に引き渡し、安達地方特別支援学校の令和7年度半ばの開校に向けて、協力していきたい。

特別支援学校建設の進捗と学区、定員等は 茶園1丁目地内の冠水する市道の改良は

問 学区、定員、通学条件は示されているか。

答 学区は県内一円とし、定員及び学級数は小学部が児童数25名程度11学級程度、中学部が生徒数15名程度6学級程度、高等部が生徒数35名程度8学級程度となっている。条件は、知的障がいのある児童生徒が対象。

問 雨が降るたびに冠水する茶園1丁目地内の住宅に挟まれた市道、道路改良はできないか。

答 沿線住民の生活に支障をきたしている。後退道路の舗装と併せた対策を検討したい。

消防団員報酬は 道路維持は



安齋 政保

[市政会]

問 団員報酬が個人ごとに振り込まれると、部の活動費はどうされるのか。

答 令和3年度まで、団員報酬のほか、火災や災害現場での出動に対する手当として1人当たり年額8千円を活動報償費として、各分団を通して支給した。本年度からは、火災や災害への出動に際し、1回当たり2千円の出動報酬を支給することとし、活動報償費は年額3千円、団員報酬については「消防団員個人に対して直接支給すること」との国からの指導により、消防団幹部会のご理解をい

ただき、個人口座へ振り込むこととした。出動報酬は本年4月より運用開始、機能別団員を除く団員に出動実績に応じて支出することから、出動した団員の確認をする。

問 赤坂山・田尻線道下地内の狭隘な道路の拡幅は。

答 令和3年度から側溝改修工事に着手しており、令和3年度で60m、令和4年度では50mの側溝改修工事を既に発注している。現況より約1m幅員が広がり、車輛の交互交通がスムーズになる。今後も、年次計画により側溝改修を行う。



佐久間 好夫

[真誠会]

畜産生産振興事業

東和地域のスクールバス

問 肉用牛繁殖雌牛ゲノム事業について伺う。

答 本事業の目的は、ゲノム育種評価技術を活用し、脂肪交雑の能力が高い評価を得た繁殖雌牛を自家保留などにより残すことで、市全体の繁殖雌牛群の産肉能力の向上を図るもので、解析価格は1頭あたり税込16,000円の定額となっている。肉用牛繁殖雌牛ゲノム育種評価補助では、1頭につき、補助対象経費の2分の1以内の額、または8,000円のいずれか低いほうの額を補助する。ゲノム解析牛の販売価格は、市場動向にもよるが、平均価格

以上の高値で取引されている。

問 始業開始に間に合わない児童生徒がいるため、バスの出発時間を変更する考えは。

答 東和小中学校の朝の活動は8時5分から始まりませんが、コミュニティバスの運行時刻は、東和小学校に到着する便のうちの遅い便は、7時58分着であることから、朝の活動が始まる時刻を5分繰り下げることで、両学校と協議し調整を図ったので、これからは余裕を持って登校できると考えている。

イヌやネコへの不妊手術助成制度の創設を 「糖尿病リスク予測ツール」の活用を



小林 均

[令和創生の会]

問 飼い犬、飼い猫、飼い主のいない猫を対象とした不妊去勢手術への助成制度の創設を。

答 県内で補助金を出している自治体もあるが、飼い主の責任で管理することが基本であり、助成制度については、今後の検討課題である。

問 公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業への登録後の現状について伺う。

答 本年7月11日に登録し、飼い主のいない猫を管理する団体等への支援を行っている。8月に無料不妊手術チケット10枚を1団体に配布。

問 「地域猫活動」の推進について見解を伺う。

答 環境省も推奨するこの活動は、地域住民、ボランティア、行政の三者協働で行うことが大切で、連携を取りながら可能な支援をしたい。

問 国立国際医療研究センターが教育ソフトウェアと共同開発した「糖尿病リスク予測ツール」を市のホームページに掲載し活用できないか。

答 市ウェブサイトへの掲載で、様々な組合保険の対象者にアプローチできる可能性がある。効果的な活用を関係各課と協議し検討していく。



坂本 和広

[真誠会]

問 市民の皆様よりのご意見やご提案に対するお答えの情報開示を、広報にほんまつへ概略を掲載することと、市ホームページにワンクリックで閲覧できるタブの設置はできないか。

答 広報にほんまつへの掲載は、スペースの確保も必要なため、内容や時期等も考慮し検討する。また、ホームページに関しては今年度リニューアルを予定しており、視認性を高める表示方法を含めウェブサイトづくりを進めて参りたい。

広報にほんまつや市HPへの情報開示は 二本松の菊人形は

問 二本松の菊人形の過去10年間の入場者数の推移と今年の入場見込みは。

答 H24年197,001人、H25年90,200人、H26年102,803人、H27年81,269人、H28年83,575人、H29年66,682人、H30年80,829人、R元62,293人、R2年43,388人、R3年20,362人で本年見込みは61,000人となります。

問 霞ヶ城近郊の駐車場確保は。

答 霞ヶ城公園の駐車場5箇所と城報館の多目的広場のほか、10月22日以降の土日祝日は二本松北小学校のグラウンドも借用予定です。

人口減少対策事業 新設パークゴルフ場建設計画

問 移住促進住宅取得奨励金事業の利用規定は。

答 奨励金の支給対象者は新たに本市に転入され、住宅取得契約時に39歳以下であること及び配偶者または18歳未満の子を有する方を対象としている。新築住宅取得の場合は、市内業者と契約し、新築住宅を取得する方、中古住宅取得の場合は、建物表示登記後5年以上経過した中古住宅を取得する方で、奨励金の額は、補助対象住宅の取得契約額の10分の1に相当する額として、36万円を上限に支給している。

問 人口減少に係る今後の取り組みは。

答 地元雇用環境や新規就農者の支援、住宅環境の整備、子育て支援、福祉の充実、教育環境の整備などの取り組みを進めることが重要と考えている。

問 新設パークゴルフ場の今後の予定は。

答 現在、施設整備検討委員会の立ち上げの準備を進めているところで、市内の各スポーツ関係団体等から委員を推選いただき、市長より委嘱させていただき、その委員会で施設の整備等について慎重に議論を重ね検討する。



小野 利美

[市政会]



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 中小事業者は、異常な円安やウクライナ問題で、原材料など物価高騰に苦しんでいる。コロナ倒産は過去最高となった。市内の融資実態と、生活困窮者への灯油補助は。

答 836事業所、融資額148億7,187万円。国では、無利子、無担保で融資が行われてきた。返済が滞ると関連する事業者連鎖し、地域経済にも打撃を与える。国で有効な支援策を講じるよう市長会を通じて要望する。灯油補助は県や近隣市町村の動向を踏まえて対応する。

コロナ対策は 市税等の減免及び滞納の実態は

問 令和2・3年度のコロナや災害の市税等の減免は。

答 固定資産税422件で1億4,445万円。国民健康保険税193件で1,482万円。

問 市営住宅家賃及び給食費の未納の実態は。

答 市営住宅の滞納は3,447万円。令和2年度以前が8割を占めており、少数の生活困窮者が滞納している。市営住宅は福祉的側面もあるので、滞納者の事情を勘案し分納等の対応を行う。給食費の滞納は86名の634万円で、保護者の承諾があれば児童手当からの納入も行った。

ふくしま森林再生事業の今後の取り組みは パークゴルフ場建設の見通しは



佐藤 源市

[みらいの風]

問 令和3年度までの事業実績と効果及び常緑樹の間伐率は。また、令和5年度からの取り組みについて伺う。

答 平成25年度より8ヶ所、110haの整備や木材の利用を推進し、下層植生の回復により、山地災害防止機能などの効果が期待できる。間伐率は、材積間伐率で35%以下を基準とし、スギ間伐は30%以上の地区が大半を占める。市実施計画は令和7年度までに、共有林等で毎年約20haの整備を計画し、県は復興創生期間終了後10年間の事業継続を国に要望している。



戸沢石平財産区森林整備事業状況

問 スポーツの推進、健康づくりを市民が望んでいるが、規模、場所及び総事業費を伺う。

答 施設整備検討委員会を今月立ち上げる計画で、今後、整備内容等を慎重に議論し検討する。



熊田 義春

[市政会]

問 病床人数、重症者人数の割合は。

答 市に提供される情報は、管轄保健所である県北保健所から人数のみの連絡であり、病床者人数及び重症者人数の割合ともに、県本部で所在地等の公表はしていない。

問 ワクチン接種推奨の周知方法は。

答 新型コロナウイルス感染症の感染拡大第7波では、防災ラジオによる呼びかけや、ウェブサイトへの掲示、お盆前の8月8日には市長メッセージとし

新型コロナウイルス感染症の現状は

て、ワクチン接種の呼びかけを実施している。また、保育所、幼稚園、小学校の年代である5歳以上11歳以下の接種については、9月6日、予防接種法の改正により、努力義務の対象となったことから、今後の接種の勧奨方法について、努力義務の対象ではあるが、ワクチン接種については強制ではないので、差別やいじめ、同調圧力の原因とならないよう注意を払いながら関係各課と協議し進めていく。

大雨の被害と本市の対応は 本市の物価高騰の認識と独自の対策は



鈴木 一弘

[みらいの風]

問 大雨の被害と本市の被害に対する対応は。

答 公共土木施設については、法面崩落等129箇所、133,200千円の被害で、10月28日までに3箇所が国の査定を受け、126箇所については市内事業者へ災害修繕業務として依頼する。農地については、田が16箇所、畑が14箇所、13,000千円の被害で、市の「農地等小規模災害復旧事業補助金」を活用して農業者個人で復旧修繕を進めていただきたい。農作物については、小規模で被害額は計上していない。

問 物価高騰の本市の認識と本市独自の対策は。

答 本市で委嘱する消費生活モニター20名による調査結果から価格動向をみると、本年2月と8月では灯油18リットル388円、LPG10m³948円、豚肉100グラム28円の値上げなど予断を許さない状況と認識しているが、一般家庭向けの本市独自の新たな支援策は、現在予定をしていない。事業者向けの新たな対策については、今回提案した「運輸業等事業継続支援事業」の他は現段階で決定しているものはない。



加藤 建也

[無所属]

問 タクシー運賃助成の要望が非常に多く、温泉券との政策統合についての期待も大きい。十分に検討する価値があると思うが考えを伺う。

答 各種事業を総合的に判断し、「笑顔あふれるしあわせのまち二本松」実現に向け、各施策に取り組んでまいるので、政策統合についてはご提言として受け取る。

タクシー運賃助成と温泉券の政策統合は にほんまつ城報館にバス停設置の考えは

問 市内各地域や観光客の来館を考えれば、城報館前にバス停があったほうが良いという意見があるが設置の考えはあるか。

答 本施設への来場、誘客の想定としては、普通自動車を中心として整備しており、にほんまつ城報館付近を通行する新たなバス路線が必要となることから、持続可能な運行の可能性も含め、総合的に勘案して参りたいと考えている。

安達ヶ原ふるさと村の状況は 本市窓口のICT化の対応は

問 茅葺古民家の屋根や天井がひどく傷んでいるが対応を伺う。

答 茅葺き屋根の葺き替えについては、材料の手配や、職人の確保、費用など多くの課題があり、今後、費用対効果を含め検討する。

問 5年先・10年先を見越した公園整備計画が必要だと考えるが見解を伺う。

答 社会情勢の変化による現況を踏まえながら、公園を訪れる方のニーズに対応できるよう、5年先・10年先、更にもその先まで市民に愛される持続可能



斎藤 徹

[みらいの風]

な安達ヶ原ふるさと村公園を目指し、今後、関係する皆様と協議を進めながら、公園の活用・維持管理方針を検討する。

問 デジタル窓口を設置している自治体があるが、本市の考えを伺う。

答 タブレット端末等による窓口のデジタル化は、申請者の負担の軽減、待ち時間の短縮等、サービス向上に繋がるが、令和7年度までに全国的にシステムを統一することになっている。事務システムの改修の推移を見守り検討する。

お知らせ

次回の定例会は12月上旬に開会の予定です。本会議の傍聴は、市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。傍聴の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いします。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143 (議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp

